

白 方 の 風

【学校教育目標】自ら学び考え、心豊かで
健やかに生きる児童の育成

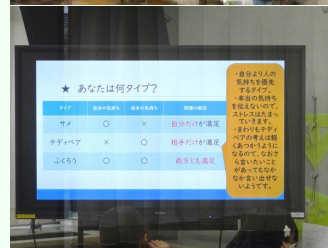
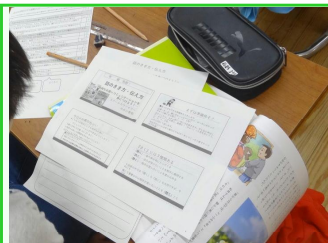
令和7年度
No.24
東海村立白方
小学校
2025.10.17
児童数 451人

10月中旬になり日が暮れる時間がどんどん早くなってきています。放課後遊びに出かけた際には、暗くなる前の帰宅を呼びかけております。加えて万が一暗くなってしまった時のために自転車のライト、反射材を身に付けることを話しております。交通事故は一瞬で命が奪われてしまう場合があります。命を守るために、自転車乗車時のヘルメット着用、交差点、狭い路地から出る時の一時停止などを守るよう繰り返しお話をしながら、自分の命を自分で守る意識を高めて参ります。

スクールカウンセラーの先生との学習

～自分の思いや考えの伝え方を学びました。～

10月1日(水)に5年生が話の聞き方伝え方について学びました。まずはリラックスするために、肩・手・足・顔に力をぎゅーっと入れ3秒数え、その後力を抜くといった準備運動をしました。その後に話を聞く時、伝える時に自分はこういったタイプか診断する質問に答えました。診断結果を見ながら、話の聞き方・伝え方のタイプはサメタイプ、テディベアタイプ、フクロウタイプの3種あるという説明を聞きました。サメは自分の主張が強く、自分が満足するやり取りをするタイプ、テディベアは相手に気を遣って、相手が満足するようなやり取りをするタイプ、フクロウは相手の思いを受け止めながら、自分の考えも伝え、相手も自分も満足できるやり取りをするタイプとのことでした。そして、自分も相手も満足するようなフクロウタイプでやり取りをすると良好なコミュニケーションが図れることを教えていただきました。その後、日常生活であり得る「いつもある決まった人に、仕事をお願いされる」場合にどういったやり取りをしていくとよいかを考え、ロールプレーをしました。生涯にわたって他の人とのコミュニケーションを良好に図ることはとても大切なことです。自分の主張だけ伝えると人間関係が上手くいかなくなります。また、相手に気を遣い過ぎても自分自身にストレスが溜まり、心身の不調をきたす場合があります。自他共に満足ができ、共に幸せな関係を作ることができるやり取り、コミュニケーションがとれる力を高めていけるよう、今後も様々な場面で支援して参ります。



4年生遠足

～大子でりんご狩りを体験しました。～

10月7日(火)に4年生が大子方面の遠足に行きました。最初に向かったのは袋田の滝です。観瀑台のトンネルが幻想的でした。トンネルと抜けると大迫力の袋田の滝。四度の滝(4段になって水が落ちる滝)の落差で生じる水しぶきを顔に浴び、120mの高さを落ちる水の勢いを感じました。その後大子広域公園でお家の方につくっていただいたお弁当をグループ毎に楽しく美味しく味わいました。午後からはりんご狩りに向かいました。りんご園では、りんごの実を軽く持ち上げながらひねると、りんごをもぎ取ることができることを教えていただきました。1人2個ずつ大きなりんごを収穫してお土産にしました。

4年生の社会科の学習では、茨城県内の地形や産業、文化の様子などを学びます。遠足で周りが山で囲まれた大子町を訪れ、実際に土地の様子を目で見て、果樹園の収穫を体験することで、茨城県内には様々な地形の場所があることや、気候や土地の様子により、その土地にあった農産物が栽培されていることを知ることができました。こうした経験は、日本全体の特徴を学ぶ5年生の社会科の学習に役立つものです。

